

日本SPIコンソーシアム(JASPICTM)

2024年度(2023年12月～2024年11月)
活動報告
(公開版)

-
1. JASPICTM活動内容
 2. 会員と運営体制
 - ① 会員
 - ② 推進体制(役員・運営委員会)
 3. 2024年度活動報告
 - (1)例会、分科会、合宿
 - (2)イベント
 - i. SPI Japan
 - ii. SPIトワイライトフォーラム
 - iii. 社外団体との交流(TSPIC)および国際会議(EuroSPI)などへの派遣
 - (3)内部セミナー
 - i. SPI Associate教育コースおよび資格試験

1. JASPIC活動内容



1. 活動の趣旨

JASPICは、地道な改善活動に日夜励んでいる技術者が社会組織*の壁を越えてプロセス改善に関して各自の経験や技術を交流し、改善技術を高める場を提供する非営利の団体です。

2. 活動の目的

JASPICは、様々な社会システム、産業システムや各種の工業製品などの開発の中核をなすソフトウェアプロセスをはじめとするプロセスの改善(以下、SPI)およびSPIに伴うソフトウェアプロセス評価(以下、SPA)に関して、以下を行なうことを目的とします。

1. SPIおよびSPAに関して会員相互間の技術的・人的交流を図り、会員各自の技術力向上と技術移転の促進を図ります
2. SPIおよびSPAについて、技術／方法論／モデルの研究を行ないます
3. 我が国におけるSPIおよびSPAに関する社会的認識と技術水準の向上を図るため、上記の活動の成果を活かして、SPIおよびSPAに関する啓蒙・普及活動を行ないます
4. SPIおよびSPAにかかるグローバルスタンダード確立に向けた国際貢献や、世界各国におけるカンファレンス等を通じたプロセス改善の専門家との国際交流を行ないます

3. 活動の概要

JASPICは、上記の目的を達成するために、次の活動を行なっています。

1. 会員相互間の技術的・人的交流のための研究会、講演会、セミナー等の開催
2. 技術情報の収集及び配布
3. SPIおよびSPAに関する啓蒙・普及活動となる公開セミナー、ワークショップ、シンポジウム、SPIカンファレンス等の開催
4. 本会が目的を遂行するために必要な、SPIあるいはソフトウェアに関する各種団体との交流や支援
5. CMMIの日本語化に対する支援
6. SPI及びSPA関連文書の発行

Building the Leading Community of Software Process Improvement

* 社会組織の壁：英語では、“Social/Organizational Barrier”。会社も含めて、学会、業界団体、政府関係機関、こうした「社会組織の壁」を意味しています。

2. 会員と運営体制 ①会員



- JASDICは、下記の法人会員および個人の会員から構成されています。

法人会員：13社(研究員および個人会員：約100名)

- 株式会社 S R A
- NECソリューションイノベータ株式会社
- 株式会社 NTTデータグループ
- オムロンソフトウェア株式会社
- キオクシア株式会社
- キヤノンITソリューションズ株式会社
- 株式会社シーエーシー
- ソニーセミコンダクタソリューションズ 株式会社
- 株式会社東芝
- パナソニック株式会社
- 株式会社日立製作所
- 株式会社日立ソリューションズ
- 富士通株式会社

<https://www.jaspic.org/organization/members/>

2. 会員と運営体制 ②推進体制

2025年2月現在



- JASPICの運営は、以下の役員・運営委員会にて推進しています。

【役員】

理事長

端山 毅(株式会社NTTデータグループ)

理事

青山 浩二(富士通株式会社)

白井 保隆(株式会社東芝)

田中 一義(株式会社日立ソリューションズ)

中川 雅通(パナソニック インダストリー株式会社)

外部理事

近藤 康二

野中 誠(東洋大学)

会計監事

千田 哲義(NECソリューションイノベータ株式会社)

アドバイザ

岡田 公治(東京都市大学)

【運営委員会】

委員長

水田 恵子(パナソニック インダストリー株式会社)

副委員長

後藤 徳彦(NECソリューションイノベータ株式会社)

小松澤 敦(株式会社日立ドキュメントソリューションズ)

小山 貴和子(株式会社東芝)

佐藤 慎一(株式会社NTTデータグループ)

菅原 広行(ソニーセミコンダクタソリューションズ株式会社)

アドバイザ

赤坂 幸彦(個人会員)

遠藤 潔(個人会員)

3. 2024年度活動報告



- JASPICでは、以下の活動を三本柱として推進しています。
- 2024年度はハイブリッド活動に加えてリアル活動も実施しました。

(1) 例会、分科会、合宿

会員間の情報共有、議論の場として活用

- ・【例会】約2ヶ月に1回の頻度で開催(5回開催)
- ・【分科会】随時開催。特定のテーマに対して、興味のあるメンバーが集まり、深く議論し、成果物を作成
- ・【合宿】年1回開催(6月に2日間)。特定のテーマに関する議論や各社のSPI活動事例を紹介

(2) イベント

SPI Japan(秋) / SPIトワイライトフォーラム(1回)

- ・ SPIに関する実践事例の共有、先端技術の導入およびSPIの普及(SPIに関する認知度を高める)のために開催
JASPIC研究員は、無料あるいは会員価格で参加できます。

その他

- ・ 社外団体との交流(TSPIC)および、国際会議(EuroSPI)などへの派遣

(3) 内部セミナー

会員の要望に応じて、スキルアップ向上や最新動向把握のためのセミナーを開催

- ・ SPI Associate教育コースおよび資格試験

3. 活動報告(1)例会

- 例会では一回ごとにテーマが設定され、調査報告・討論等が行われます。
- 会員各社の事例共有、プロセス関連会議の参加報告や、外部から講師を招いた講演などがあります。
- 例会推進グループが企画・運営しています。

2024年度の開催実績：

- ① 第1回：2023年12月13日（水）
- ② 第2回：2024年 2月16日（金）
- ③ 第3回：2024年 4月16日（火）
- ④ 第4回：2024年 7月12日（金）
- ⑤ 第5回：2024年11月07日（木）

3. 活動報告(1)例会 第1回アジェンダ



#	内容	時間
0	開会挨拶、初参加の研究員紹介、事務連絡など	14:30-14:40
1	JASPIC運営方針	14:40-14:55
2	例会年度計画	14:55-15:05
3	例会貢献賞の表彰	15:05-15:10
4	事務連絡	15:10-15:15
	<休憩>	15:15-15:30
5	SPI Japan 2023 受賞者発表との意見交換 【実行委員長賞】	15:30-15:55
	【最優秀賞】	15:55-16:20
6	Agile Japan 2023基調講演(動画)	16:20-17:20
7	クロージング	17:20-17:30
8	Agile Japan2023基調講演を踏まえたディスカッション (希望者のみ)	17:30-18:00

3. 活動報告(1)例会 第2回アジェンダ



#	内容	時間
0	開会挨拶、初参加の研究員紹介、事務連絡など	13:30-13:40
1	分科会表彰	13:40-13:45
2	例会での会員企業発表表彰	13:45-13:50
3	分科会の紹介	13:50-14:50
	<休憩>	14:50-15:00
4	各社事例紹介とディスカッション	15:00-17:00
5	クロージング	17:00-17:10

3. 活動報告(1)例会 第3回アジェンダ



#	内容	時間
0	開会挨拶、初参加の研究員紹介、事務連絡など	13:30-13:45
1	合宿宣伝	13:45-13:55
2	各社事例紹介	13:55-14:35
3	カンファレンス参加報告 アジャイル経営カンファレンス	14:35-14:40
4	表彰分科会発表 301-SPI推進課題分科会 <休憩>	14:40-15:00 15:00-15:10
5	表彰分科会発表(つづき) ・302-SPI事例研究分科会 ・305-SPI現場ノウハウ交換分科会	15:10-15:50
6	Agile Japanサテライト[録画配信]	15:50-16:20
7	グループディスカッション 各社事例およびアジャイルジャパン事例	16:20-16:50
8	クロージング・アンケート記入	16:50-17:00
9	雑談部屋(希望者のみ)	17:00-17:30

3. 活動報告(1)例会 第4回アジェンダ



#	内容	時間
0	開会挨拶、初参加の研究員紹介、事務連絡など	13:30-13:40
1	SPI Japan宣伝	13:40-13:50
2	合宿報告	13:50-14:00
3	カンファレンス参加報告 • 派生開発カンファレンス2024(5/24) • ソフトウェア・シンポジウム 2024 in 長崎(6/12-14)	14:00-14:15
4	特定テーマ：生成AI (1) AgileJapan 基調講演No.2(録画) <休憩>	14:15-15:20 15:20-15:35
5	特定テーマ：生成AI (2) AIの品質・品質のためのAI(外部講演)	15:35-16:50
6	クロージング・アンケート記入	16:50-17:00

3. 活動報告(1)例会 第5回アジェンダ



#	内容	時間
0	開会挨拶、初参加の研究員紹介、事務連絡など	13:30-13:40
1	各社事例発表	13:40-14:45
2	ディスカッション	14:45-15:30
3	SPI Japan 2024報告	15:30-15:40
4	カンファレンス報告 Euro SPI SQiPシンポジウム	15:40-15:55
5	ライトニングトーク イノベーションマネージメントシステム ISO 56000	15:55-16:00
	<休憩>	16:00-16:10
6	外部講演(SQiP 2024講演者)	16:10-17:10
7	クロージング・アンケート記入	17:10-17:30

3. 活動報告(1)分科会

- 特定のトピックについて議論するための分科会が多数存在します。
- 分科会は、会員の誰もが提案し立ち上げることができます。
- 値値の高い成果を評価し、活動を活性化するために、表彰制度もあります。

ID	分科会名(略称)
301	SPI推進課題分科会(Small Steps 分科会)
302	SPI事例研究分科会(WOK分科会)
304	SPC(Statistical Process Control)分科会
305	SPI現場ノウハウ交換分科会(ノウハウ分科会)
307	コア・コンピテント・チーム研究会(CCT分科会)
308	プロダクトライン分科会
310	人材育成分科会(People Process分科会)
311	関西分科会

ID	分科会名(略称)
313	要件定義プロセス分科会
314	プロセス改善戦略分科会
315	IDEALモデル実践研究分科会
316	ECQA連携検討分科会
317	オフショア分科会
319	アジャイル分科会
320	プロセス改善への機械学習応用分科会
321	セキュリティ分科会
322	UX分科会

各分科会の詳細については、以下をご参照ください
https://www.jaspic.org/activities/sig/sig_list/

3. 活動報告(1)合宿

- 宿泊を伴って、例会よりも深く集中的に議論する場です。
- 外部講師を招聘した講演や、オープン分科会(分科会の成果を体験)などを実施しています。
- 合宿推進チームが企画・運営しています。

日程	2024年6月21日(金)13:00 ~ 6月22日(土)15:00	
場所	パナソニックリゾート大阪(大阪府吹田市) & オンライン ※1日目の基調講演とグループディスカッションのみオンライン配信	
内容	<p>■1日目</p> <p>12:30 - 受付</p> <p>13:10 - 事務連絡</p> <p>13:25 - オープニング・理事長挨拶</p> <p>13:40 - 基調講演 「AIを搭載したシステムの開発プロセスと品質」</p> <p>15:10 - Q&A</p> <p>15:45 - グループディスカッション</p> <p>16:50 - 分科会・勉強会紹介</p> <p>17:30 - 事務連絡</p> <p>18:30-21:00 懇親会</p>	<p>■2日目</p> <p>7:00 - 朝食</p> <p>9:00 - 集合</p> <p>9:10 - オープン分科会・勉強会①</p> <p>11:00 - オープン分科会・勉強会②</p> <p>12:40 - 昼食</p> <p>13:40 - 発表</p> <p>14:50 - クロージング・運営委員長挨拶</p> <p>15:00 - 片付け、解散</p>

3. 活動報告(2)SPI Japan 2024 概要



SPI Japanは、ソフトウェア開発プロセス改善活動で得られた技術や知見を総集し、その普及と技術力向上の場を提供するために、JASPICが主催する最大のイベントです。

日時	2024年10月16日(水) ~ 10月18日(金)	
メイン会場	プラサヴェルデ(静岡県沼津市)	
開催形式	ハイブリッド(現地 & 一部オンライン)	
テーマ	「響かせる」～未来を拓くカイゼン、一緒に探求しましょう～	
プログラム	1日目	オープニング、基調講演、一般発表
	2日目	一般発表、トーク&納得セッション、意見交換会
	3日目	招待講演、クロージング チュートリアル

https://www.jaspic.org/events/sj/spi_japan_2024/

3. 活動報告(2)SPI Japan 2024 開催模様(1/2)

●基調講演・招待講演

基調講演 2024/10/16(水)



いいソフトウェアを創るために組織と
経営

倉貫 義人 氏
(株式会社ソニックガーデン 代表取締役社長)

2024/10/18(金) 招待講演



組織に自動テストを書く文化を根付かせる
戦略（2024版）

和田 卓人 氏
(プログラマ、テスト駆動開発者)

3. 活動報告(2)SPI Japan 2024 開催模様(2/2)

- 一般発表(22件)
- トーク&納得セッション(6テーマについて詳細に議論)
- チュートリアル

2024/10/18(金)

チュートリアルA

プロセス改善から共創～新しい価値の創出へ
価値ある波紋を拓げよう

安達 賢二 氏
(株式会社HBA 経営企画本部 エグゼクティブエキスパート兼イノベーション推進室 理事)



03:33





2024/10/18(金)

チュートリアルB

AIシステムの品質とプロセス
～安心・安全なAIシステムの開発を目指して～

久連石 圭 氏
(株式会社東芝 デジタルインベーションテクノロジーセンター エキスパート)

SPI Japan チュートリアルでお伝えしたこと
AIシステムの開発・品質の動向と取り組みをお伝えします

AIシステムの紹介
AIのユースケース 最近のトピック

世の中の動き
各国政策 ファイドライン

開発での取り組み
開発方法と品質の考え方

AIシステムとは何か
世界は動いている
まずは基本形から



3. 活動報告(2)SPIトワイライトフォーラム



- 日時：2024年2月21日(水)
- テーマ：SJ23発表者との事後交流会～発表を振り返って議論を深めよう！～
TISインテックグループの事例：チーム力向上・働きがい向上のために心理的安全性を高める取り組み
- 講演者：川野 いずみ 様(TIS株式会社)

●台湾SPIコンソーシアム(TSPIC)を通じた日台の产学交流

- 過去、SPI Japan 2015(姫路)開催中にTSPICから訪問を受けて以来、多くのSPI Japanカンファレンスへの参加受け入れや、逆にJASPICからのTSPIC年次大会への参加や台湾の大学訪問/講演など、产学の交流を実施中。
- 2024年は、JASPIC外部交流担当が5月に台中の4大学(国立台中科技大学、亞洲大学、逢甲(Feng Chia)大学、国立中興大学)を訪問して講演等を実施。
- SPI Japan 2024では、TSPIC発表交流枠を設けて台湾からの研究発表2件を実施。
 - TSPIC発表交流A : 「開発チームのコードレビュー優先度分析研究」 TSPIC
 - TSPIC発表交流B : 「台湾における都市動態の探求-モバイルデバイスGPS信号を使ったオフィスワーカーの行動に関する時空間分析-」 国立中興大学

● EuroSPI 2024での発表・参加

- 301-SPI推進課題分科会からの論文が採択され、会議で発表し、高い評価を得られた。
 - "Case Study: Game-Based Learning of SPI Manifesto
 - Behavior and Attitude Transformation Using Small-step Good Practices in the "Sugoroku" game -"
 - 分科会で整備してきた「Small Steps」のプラクティスを活用し、SPI Manifestoを学ぶためのゲーム型学習の仕組みとして、双六型のボードゲームを開発した。4つのグループで実践した結果を分析し、Manifestoへの関心・理解を高めるとともに、実践の機会を拡げることができたことを示した。

●資格制度推進チーム

- ヨーロッパの資格認定団体ECQA(European Certification and Qualification Association)にメンバーとして参加している(継続)。
- ECQA認定資格としてのSPI ManagerコースをJASPIA内で実施してきた。
- SPI Managerコースの派生コースとして、初級者向け「SPI Associate」資格のコースおよび試験システム(問題およびオンラインシステム)をJASPIAとして実装。
- 2024年度は、SPI Associateコースのトレーニング・試験を実施。
 - 1シーズン(4回のパートから構成)実施。研究員・個人会員が延べ36名参加。
 - 試験を実施。4名受験し、4名合格



<https://www.jaspic.org/>